

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

|                 |                                                                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                                                                                                                         |
| 2. 体験した事例の名称    | 放水活動中に、反動力によりバランスを崩し、転落した事例。                                                                                                                               |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 放水活動中、火災建物の小屋根部分(幅～約50cm)に架けられていた脚立を渡り、小屋根と脚立に足をかけ、放水開始しようとノズルを開放した際、放水時の反動力により、バランスを崩した。                                                                  |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 小屋根部分の強度については十分であったため、両足とも(体全体)確実に小屋根に乗り移り、自己確保ロープをつけ活動する必要があった。また、脚立が架けられていた小屋根の形状についても少し斜め部分に架けられており、不安定な状態及び、ホース内にも充水されていたため、反動力と重量でバランスを崩しやすかったと考えられる。 |

【体験した事例の直接的原因について】

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の実行に問題があった。 |
|------------------|---------------|

### 【体験した事例について】

|                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成26年1月29日 午後7時頃    |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                  |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：2階建て木造家屋 玄関上の小屋根 |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。     |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 軽傷の怪我               |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 墜落・転落               |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動初期、〔木造建物〕     |
| 8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか         | 放水活動                |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した             |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                   |                                                                 |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[30]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6] 年、階級[消防副士長]<br>同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]          |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]          |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                                 |

11. 事例発生時の経過。

|      | 誰が(何が) | なにをした                        | その他・備考など      |
|------|--------|------------------------------|---------------|
| 経過1  | 当事者Aが  | 小屋根に架けられていた脚立で小屋根に渡ろうとした。    |               |
| 経過2  | 当事者Aは  | 小屋根と、脚立の両方に足をかけていた。          |               |
| 経過3  | 当事者Aは  | 両方に足をかけたまま放水を開始しようとノズルを開放した。 |               |
| 経過4  | 当事者Aは  | 放水開始時の反動力とホースの重量によりバランスを崩した。 | 脚立も小屋根からずれていた |
| 経過5  | 当事者Aは  | 小屋根部分から転落した。                 |               |
| 経過6  |        |                              |               |
| 経過7  |        |                              |               |
| 経過8  |        |                              |               |
| 経過9  |        |                              |               |
| 経過10 |        |                              |               |
| 経過11 |        |                              |               |
| 経過12 |        |                              |               |

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。 資機材の機能が不適切だった。 資機材の操作がうまくいかなかった。 足元の安全が確保できていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい  |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | はい  |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい  |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

様々なタイプの筒先を使用し、反動力を体感した。

○活動環境の対策について

様々な態勢で、反動力を体験した。

○指揮・情報伝達の対策について



赤丸については、足をかけていた位置。  
小屋根部分と脚立にかけていた。

ホース(充水されている状態)  
放水活動時、反動力でバランス崩す